
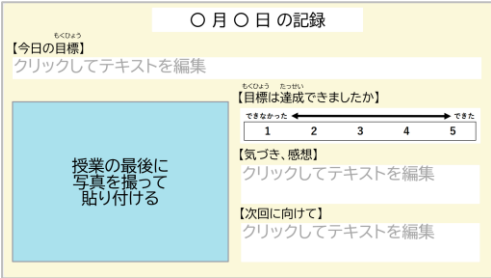
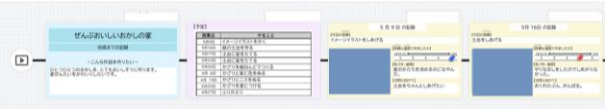
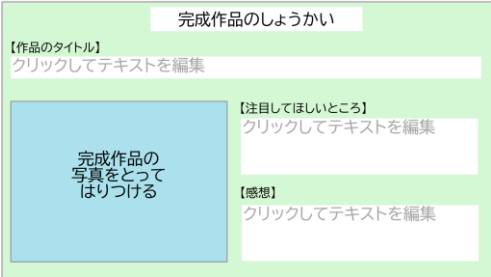


# おすすめICT活用事例のご紹介

| 区分          |   |      |         | 活用ソフト  |
|-------------|---|------|---------|--|
| 学年          | 教科等   | 単元等  |         |  |
| 小           | 456   | 図画工作 | 制作過程の記録 | オクリンクプラス   |
| 授業内容        | 制作過程を記録し、次時の取り組みにつなげる   |      |         | 共有コード<br><br>pb01JQ3N9E97BFTGYNNTCG8E9VDJ |
|             | 準備：<br>・共有コードを使用してカードを取得する。<br>・「予定」のカードに「授業日」と「やること」を入力しておく。<br>・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。<br>・2時限目以後は、授業前に「時間割」画面にて授業を該当の日時に移動しておく。  |      |         |  |
|             | 授業の流れ：<br>1. 先頭のカードの「こんな作品を作りたい」に入力し、提出BOXに送信する。<br>2. 各授業の最初に「日付」「今日の目標」を入力し、作品の制作に取り組む。<br>3. 授業の最後に作品の写真を撮ってカードに挿入し、「目標は達成できましたか」にピンを置く。「気づき、感想」「次回に向けて」を入力する。提出BOXに送信する。<br>4. 次時からは毎時間、「今日の目標」を入力する際に前時の入力内容を確認する。カードを複製して、2と3を実施する。子供は複製したカードをマイボード上でつなげておく。<br>5. 作品が完成したら、「完成作品のしょうかい」カードに作品の写真を挿入し、「作品のタイトル」「注目してほしいところ」「感想」を入力し、提出BOXに送信する。 |      |         | 毎時の記録<br>                                 |
|             | 子供はマイボード上でカードを保存します   |      |         |    |
| ICT利活用のポイント | ・写真をカードに挿入することで、制作過程を視覚的に記録することができます。<br>・前時までの記録を見返すことで、反省や留意点を意識したうえで続きに取り組むことができます。<br>・先生は提出BOXで子供の進捗やつまづきを把握することができます。提出履歴も確認ができます。<br>・作成したカードをみんなのボードに送り、入力したテキストやピンを集計して、クラスで共有することもできます。   |      |         | 完成作品の紹介<br>                             |
| おすすめポイント    | ・進捗を記録することで「今日は集中して取り組むことができた」「今日はあまり進まなかった」等、自身の状況を客観視することができます。<br>・見通しを持って制作する力や、前時の反省を活かして取り組む力を育成します。  |      |         |  |